

細川 照美さん

Terumi Hosokawa

(旧姓 小野山)

Profile

卒業後、他市の私立幼稚園に3年間勤務し、出産のため退職。その3年後、「幼稚園で再度働きたい」と2人の子育てをしながら伊丹市を受験。天神川幼稚園に勤務し、在職中に三男をもうける。その他2つの幼稚園で担任として勤務後、教頭職を1年勤め、伊丹市教育委員会に異動。伊丹市初の公立認定こども園の設立準備に携わる。神津幼稚園へ異動し、園長としてこども園の開園準備に携わるとともに、幼稚園舎の終幕を見届ける。南幼稚園へ異動し、現在に至る。

困った時には、いつも誰かが必ず手を差し伸べて助けてくださっていたのだと思います。だから『困難』と記憶されず、あたたかい記憶として刻まれている気がします。

どんな南っ子でしたか？ 無邪気で元気一杯、よく遊ぶ南っ子でしたが、注意散漫で自分の世界に浸る面もありました。



南小での思い出 鼓笛部に入部し、コンクール出場や運動会で指揮者として入場行進したことです。



どんな仕事をしてこられましたか？ 伊丹市立幼稚園の園長を務めさせていただいています。『幼稚園の先生』は幼い頃からの夢で、高校時代に決心しました。鼓笛部ではありましたが、ピアノが弾けませんでしたので、高校3年生の頃に始めました。幼稚園では毎日ピアノを弾く必要があるので、練習が大変でしたが、少しずつ上手くなりました。担任の頃は、いろいろと失敗したり悩んだりしたことがありますが、毎日が楽しくて仕方ありませんでした。今は園長となり、立場が変わってしまいましたが、幼稚園で働くことの楽しさは変わらず続いています。

今までに経験された困難は？どのように乗り越えましたか？ これまで、いくつもの困難があったのかもしれませんが、振り返ってみると、『困難』と思えることが浮かびません。幼稚園で、元気で純朴な子どもたちから、常に『元気パワー』をもらっているからでしょうか、悩み事も辛い事も苦しいことも、いつの間にか過ぎ去っていったように思います。また、困った時には、いつも誰かが必ず手を差し伸べて助けてくださっていたのだと思います。だから『困難』と記憶されず、あたたかい記憶として刻まれている気がします。

南っ子または、南っ子の保護者へのメッセージ 70周年、おめでとうございます。卒業して何十年も経ちますが、南小の伝統が今も大切に受け継がれていることを感じ、うれしい思いです。今後も大勢の子どもたちが『私の母校』と胸を張って誇れる学校として、南小学校の「不易と流行」を楽しく歩んでください。